

MI_2074：卓上型ユニットのガスホース - 取り外しと取り付け



iCombi ガス式 6-1/1 -
10-2/1



30分



必要となる工具を
参照



2023/10/11

テーマ

ここでは、卓上型ユニットのガスホースの取り外しと取り付けについてご説明します。

対象となる製品 / アクセサリー

iCombi ProとiCombi Classic ガス式：

- 6-1/1
- 6-2/1
- 10-1/1
- 10-2/1

必要な工具

- 標準
- トルクスパナ
- スパナ サイズ30、25Nm。(Atlas Copco CWR)

必要となるコンポーネント

コンポーネント：	品番：
ガス接続 6-1/1 G	70.01.605S
ガス接続 6-2/1 G	70.01.606S
ガス接続 10-1/1 G	70.01.607S
ガス接続 10-2/1 G	70.01.608S

一般情報

RATIONAL機器に取り付けられたガス部品には、部品製造者の文書が適用されます：

注記

使用前に、部品製造者の文書およびRATIONALの情報を必ずお読みください。

この資料はQR コードまたはリンクからアクセスできます。



図 8: QR-Code_jp

https://portal.rational-online.com/fs4p/media/service/3_dokumentationen/icombi_pro___icombi_classik/beipack/divers_1/Sicherheitshinweise-Gaskomponenten_jp.pdf

ターゲットグループ

- 本書は、トレーニングコースおよび安全に関する指導を受け、メーカーから認定と研修を受けた技術者を対象としています。
- 設置、検査、メンテナンスおよび修理作業は、訓練を受けた技術者だけが行うことができます。
- 点検、メンテナンス、修理は、メーカーから認定された技術者だけが行うことをお勧めします。
- お子様はユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ユニットは、遊ぶために使用しないでください。これは、監視のもとであっても許可されません。
- 身体的、視聴覚的、あるいは精神的な障害のある人、または経験あるいは知識が不十分な人は、ユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ただし、このグループの人々が、安全に関する責任者によって監督され、この装置の危険性を認識させられている場合は、この限りではありません。
- 事故の危険や物的損害を防止するため、メーカーは技術者が定期的にトレーニングや安全説明会に参加することを推奨しています。

安全上の指示



危険

高圧電源に接続する場合

高電圧を扱う際には人命の危険が生じるおそれがあります。

- 電源との接続を切ってください。
- ユニットに通電されていないことを確認してください。

⚠️ ご注意

本体の鋭いエッジ

電装部内のボディーの鋭いエッジで切り傷をこうむるおそれがあります。
保護用手袋を用いてください。

注記

ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。

漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります。

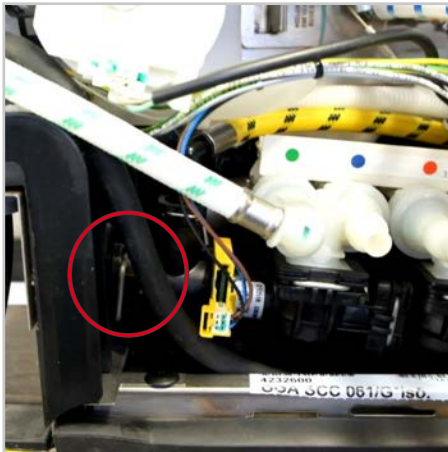
修正ログ

この説明書の前バージョンの変更事項:

- 「安全上の注意事項」の章に、「ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります」という注記が追加されました。
- 「作業ステップ - 床置き型ユニットのガスホースの取り付け」の章に、「ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります」という注記が追加されました。

作業ステップ - 卓上型ユニットのガスホースの取り外し

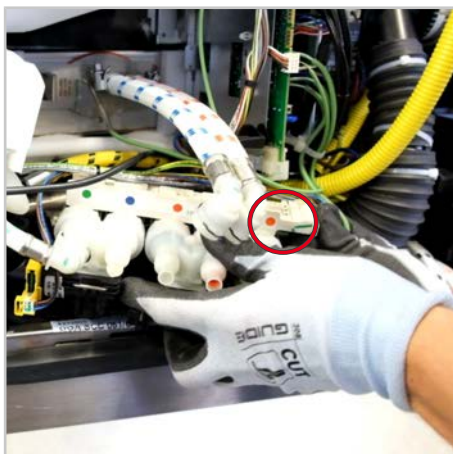
- ✓ ユニットが非通電状態で、電装部が開けられている。
- 1. ユニットの給水接続とガス接続を取り外します。
- 2. ポンプ接続ソケットにある緊急排水ホースを介してスチーム発生器を空にします。
- 3. 電磁弁ブロックの安全クリップを取り外します。



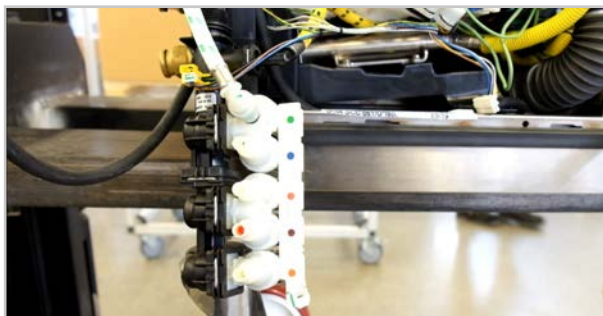
4. すべての水ホース（コンピューターボックスに繋がれている白と緑の水ホース以外）を電磁弁ブロックから取り外します。



5. 電磁弁ブロックからケーブルを取り外します（以下の画像でマークされているコネクタを参照）。



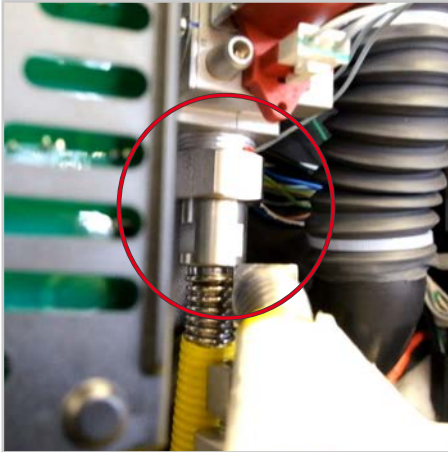
6. 電磁弁ブロックをユニットから取り出します。電磁弁を次の位置でホースに掛けます。



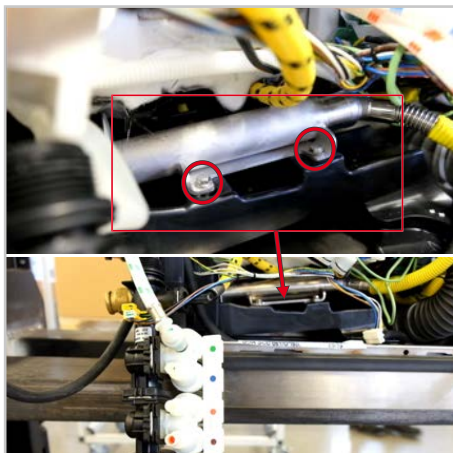
7. スパナ（サイズ30）を用いて、ガス弁（ホットエアー）のガスホースを取り外します。



8. ガスブロワーのフレッシュエア用ホース（ホットエアー）を取り外します。
9. スパナ（サイズ30）を用いて、ガス弁（スチーム）のガスホースを取り外します。



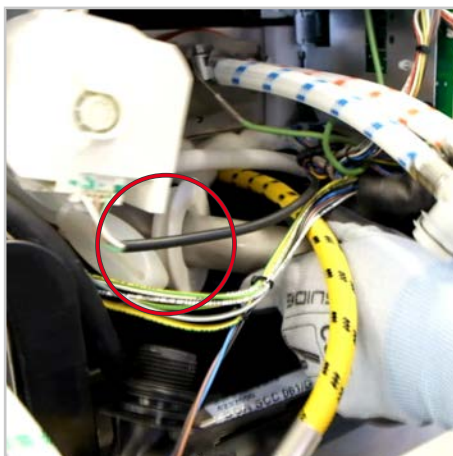
10. ガスホースインレットを固定している2本のネジを取り外します。ガスホース全体を取り出します。



11. 古いガスホースを新しいガスホースと交換します。
>> これで取り外しの完了です。

作業ステップ - 卓上型ユニットのガスホースの取り付け

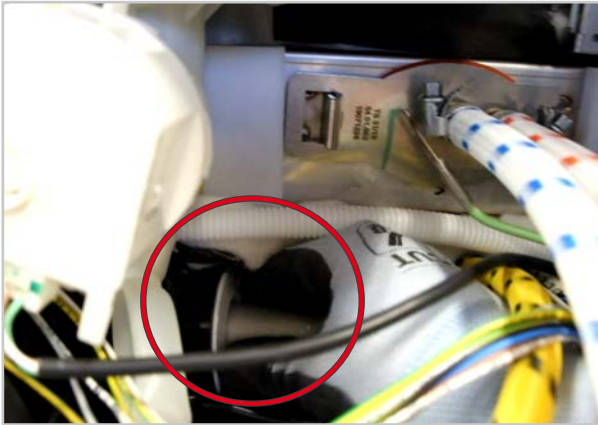
1. 取り付けは逆の順序で行います。
2. 白いプラスチックリングは取り付けの際に再び用います。



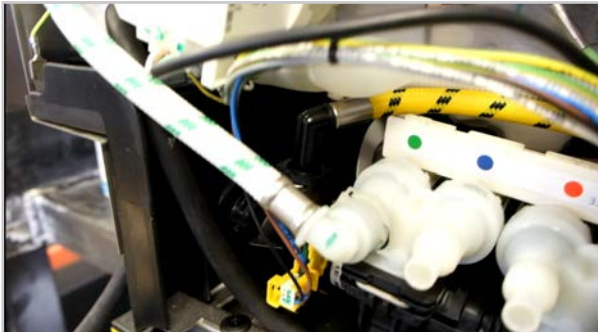
3. ガスホースインレットを、ユニットの背面の以下の箇所にあるゴム製口金から出てくるように通します。



4. 白いプラスチックリングを手でゴム製カバーに押し込みます。



5. 電磁弁ブロックを再び取り付けるときは、黒/黄色の水ホースが正しく配置されていることを確認してください。



6. 電磁弁ブロックを安全クリップで固定します。すべての水接続と給電線を再び接続します。

ユニットサイズ 6-1/1、6-2/1の場合：

ガスホースをガス弁（ホットエアー）に接続するときは、特別な連結部を止めナットでロックする必要があるため、スパナ（サイズ18）と開口部サイズ30（25 Nm）のトルクスパナを使用してください。

ガスホースをガス弁（スチーム）に接続するには、スパナ（サイズ20）

と開口部サイズ30 (25 Nm) のトルクスパナを使用してください。
ユニットサイズ 10-1/1、10-2/1の場合：
他のすべてのユニットサイズでは、ガスホースをガス弁（ホットエアーおよびスチーム）に接続するために必要となるのは、スパナ（サイズ20）とサイズ30 (25 Nm) のトルクスパナのみです。



7. ガス弁（ホットエアー）用のガスホースでは、サイドパネルを再び適切にり付けられるように、ホースが正しく配置され、ファンモーターとガス排気のコイルの間を通っていることを確認してください。
 8. 改修後は、漏れ試験と排ガス分析を実行する必要があります。
注記：ガスコンポーネントの漏れ点検の際は、漏れ検知スプレーを使用しないでください。漏れ検知スプレーは隣接するコンポーネントに損傷をきたすおそれがあります。
 9. 連結部接続を再びシーリングしてから、サイドパネルを再び取り付けることができます。
- >> 取り付けは完了です。**

